

全国で小型船舶に対する安全キャンペーンを実施！
～小型船舶の安全確保に向けて～

国土交通省では、警察庁、海上保安庁、日本小型船舶検査機構などの協力を得て、本年 4 月 20 日から 9 月 30 日までの間、小型船舶の事故削減に向けた取組として、リーフレットの配布等による周知・啓発、マリーナ・漁港等でのパトロール指導を行う小型船舶の安全キャンペーンを実施します。

沖縄総合事務局においては、小型船舶の安全確保にむけて、下記のとおり、安全キャンペーンを実施します。

我が国の周辺では、毎年 2,000 隻以上の船舶事故が発生しており、その 7 割以上が小型船舶によるもので、沖縄総合事務局管内でも平成 27 年に 100 隻以上の船舶事故が発生しており、全国と同様の傾向にあります。特にゴールデンウィーク前から初秋にかけては、小型船舶の事故が多発していることから、平成 19 年度より小型船舶に対する安全キャンペーンを実施しております。昨年度には、管内のマリーナ・漁港等 35 箇所周知啓発活動を実施し、736 隻のパトロール指導を実施しました。

記

1. 実施期間

平成 28 年 4 月 20 日（水）から同年 9 月 30 日（金）まで

2. 実施内容

- ・以下について、マリーナ・漁港等へのパトロール指導、リーフレットの配布等による周知・啓発に取り組みます。

（指導内容）

- ① 発航前点検の実施など小型船舶操縦士の遵守事項の徹底
- ② 船舶検査の適切な受検の確認・指導
- ③ 小型船舶操縦士免許の適切な受有の確認・指導 等

- ・小型旅客船について、消防設備及びライフジャケットの適切な備え付けなどについて、安全指導を実施します。

3. 実施主体

沖縄総合事務局の職員が、第十一管区海上保安本部、日本小型船舶検査機構沖縄支部などの協力を得つつ、指導を実施します。

（参考）小型船舶とは総トン数 20 トン未満の船舶。

総トン数とは容積の単位。1 トンは約 2.8m³。

【問い合わせ先】

内閣府沖縄総合事務局運輸部船舶船員課 西・宜保・宮城

TEL 098-866-1838（直通）

最近の小型旅客船の事故例について

① 救命胴衣未着用による事故の事例

日時：平成 27 年 4 月

場所：愛媛県今治市沖

概要：航行中に火災を起こし、救命胴衣を着用せずに海中に飛び込み乗客 2 名が死亡した。

② 乗下船時の海中転落事故の事例

(事例 1)

日時：平成 27 年 8 月

場所：徳島県鳴門市

概要：左舷のみ係留索を使用して停泊中にスロープと岸壁に隙間ができ、自転車を押して乗船している旅客が転落し怪我をした。

(事例 2)

日時：平成 27 年 5 月

場所：愛媛県上島町

概要：係留索を使用せず停泊中にスロープと岸壁に隙間ができ、車両が転落した。乗車していた乗客 2 名は怪我等なし。

③ 一酸化炭素中毒事故の事例

(事例 1)

日時：平成 24 年 12 月

場所：山梨県 山中湖

概要：釣り場で後進運転して錨船作業中に船外機から水中に排出される排気ガスが旅客室床に蓋の開いた釣りホールより侵入し、小学生 3 名が一酸化炭素中毒となった。

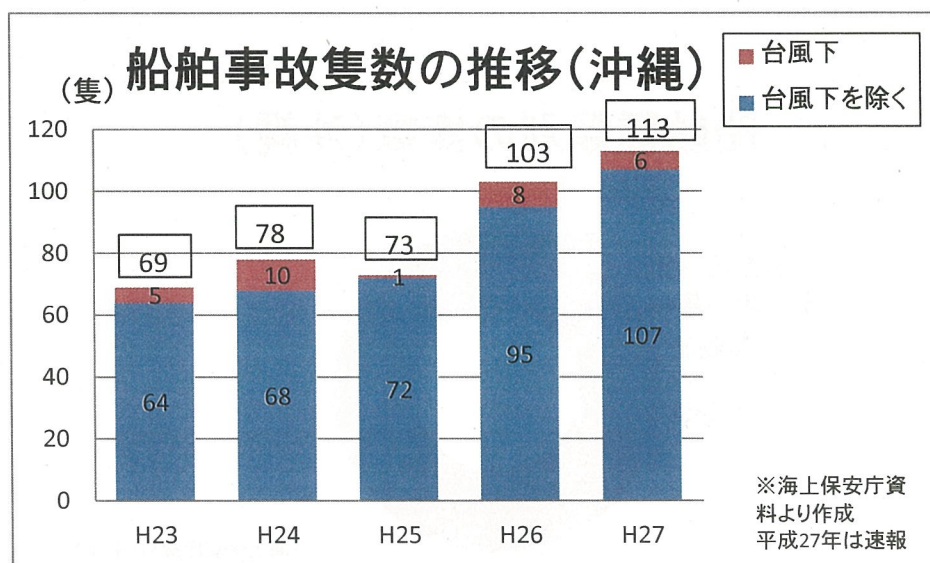
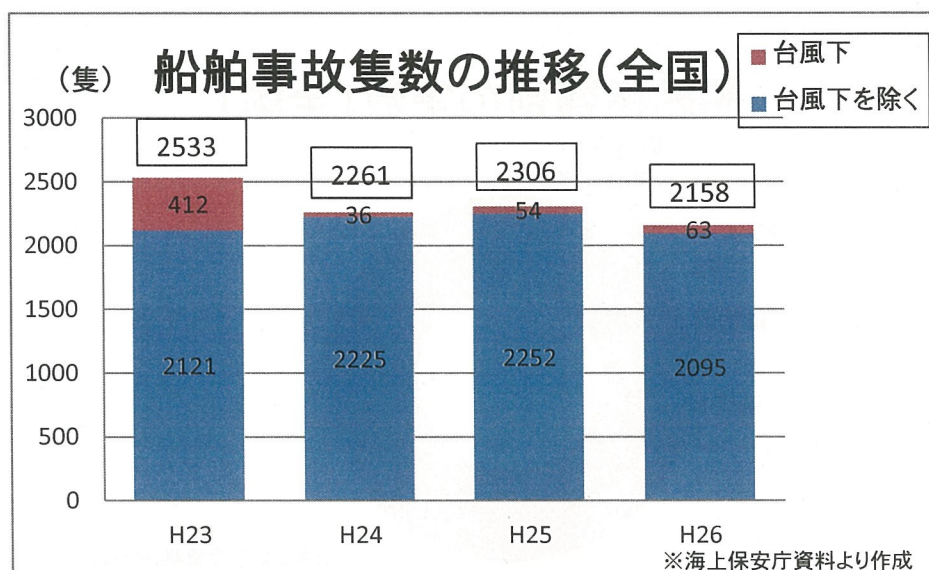
(事例 2)

日時：平成 25 年 1 月

場所：山梨県 山中湖

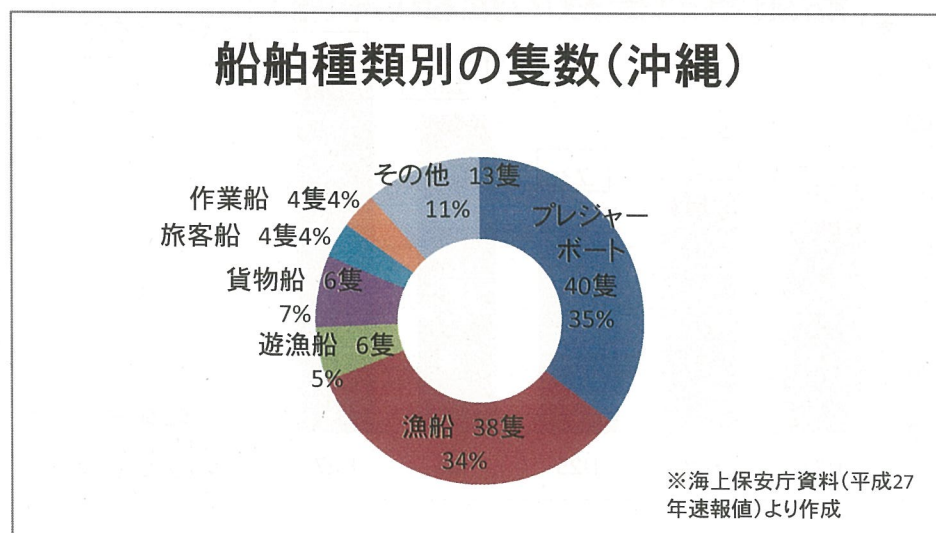
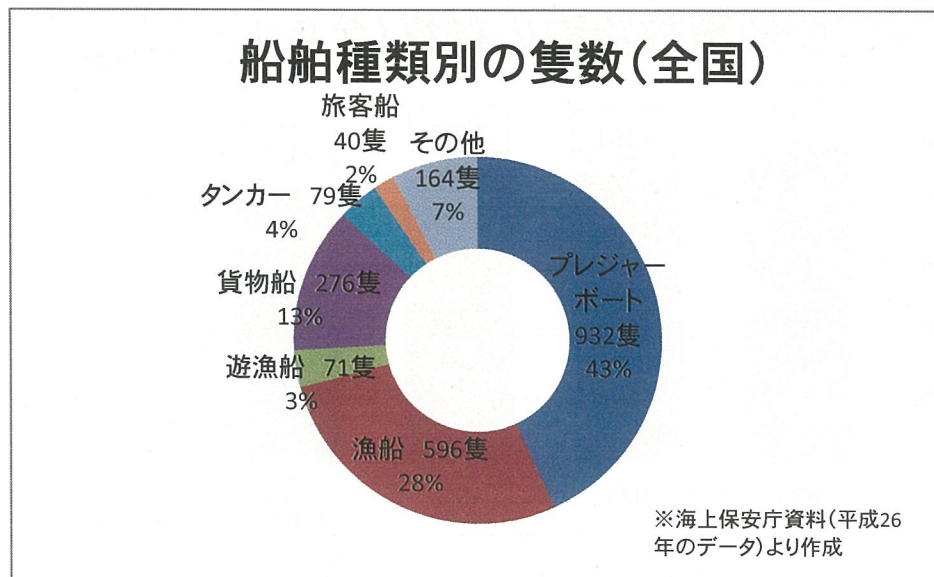
概要：釣り場で後進運転して船外機から水中に排出される排気ガスが旅客室床に蓋の開いた釣りホールより侵入し、釣り客 3 名が一酸化炭素中毒となった。

1. 船舶事故隻数の推移



- ・全国では毎年、2,000隻以上、沖縄では平成26年以降100隻以上の船舶事故が発生
- ・全国の船舶時の減少傾向にあるが、沖縄は増加傾向

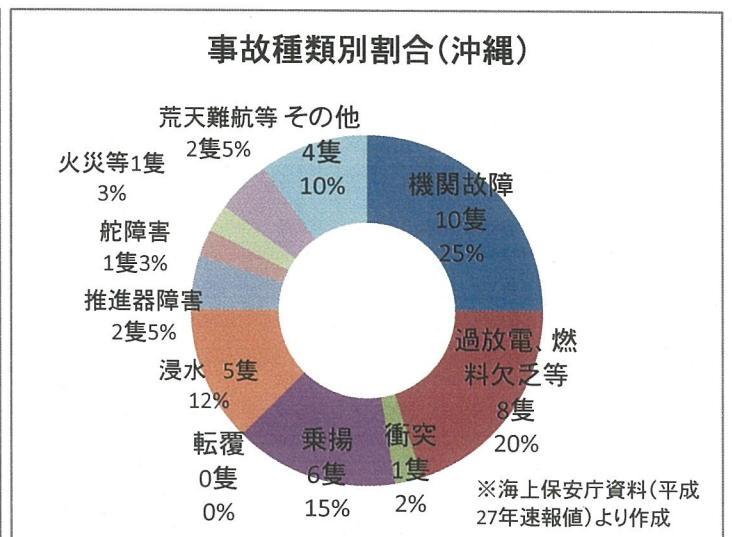
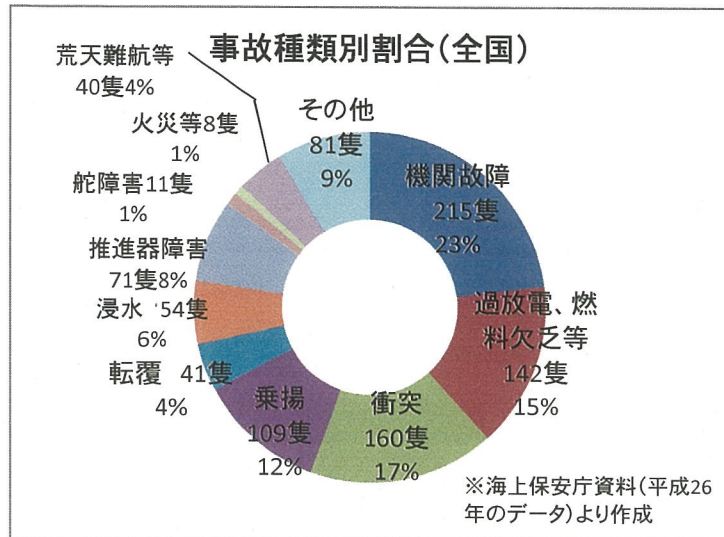
2. 船舶種類別隻数



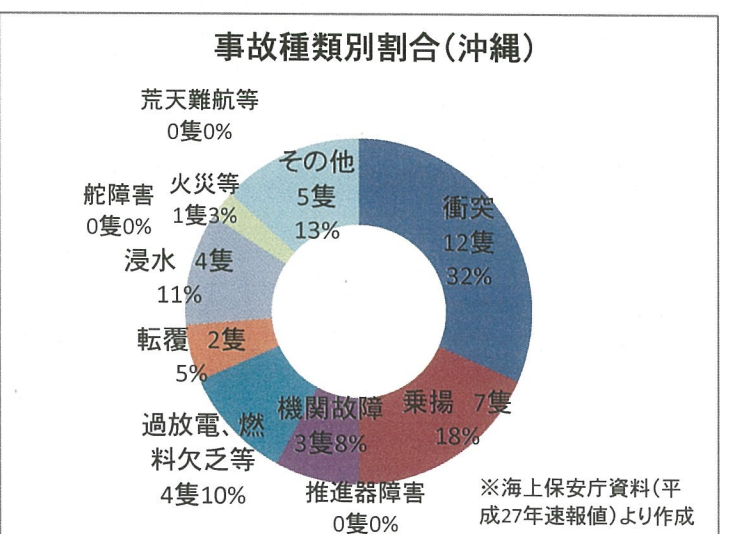
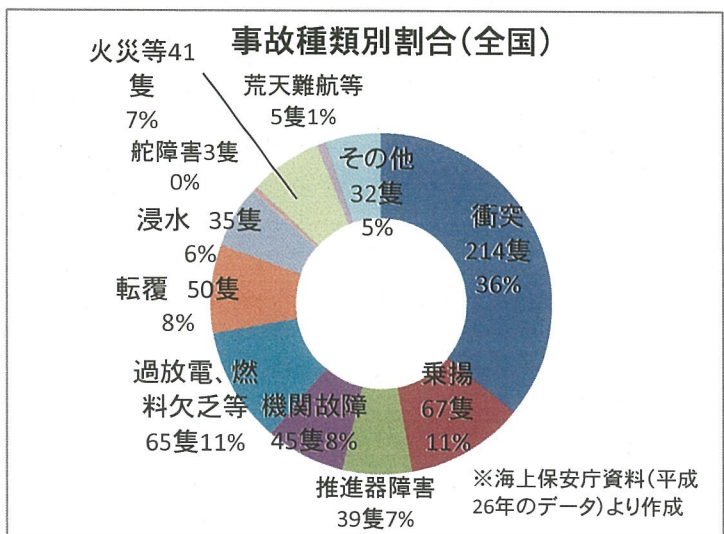
- ・プレジャーボート、漁船及び遊漁船の船舶事故割合は約7割で、全国と沖縄は同じ傾向

3. プレジャーボート及び漁船の事故種類別割合

① プレジャーボート



② 漁船



- ・全国、沖縄ともプレジャーボートの事故種類は機関故障、バッテリーの過放電、燃料切れが多く、出港前に点検すれば防げる事故が多い
- ・全国、沖縄とも漁船の事故種類は、衝突及び乗揚が多く、見張りを行えば防げる事故が多い